

# 速玉賞



世界遺産 熊野速玉大社

速玉賞とは、2006年(平成18年)に新宮商工会議所青年部設立20周年を記念して熊野速玉大社、新宮市観光協会のご協力の下、新宮の始原ともいえる世界遺産熊野速玉大社の名称にちなんで創設された賞です。  
2004年登録のユネスコ世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部でもあります。



熊野速玉大社のご神体「速玉男神」は、元来「自ら行くべきところを指し示す神」として、古来より全国から多くの信仰を集めており、とりわけ大きな岐路に立つことの多い人々の厚い信仰心に支えられてきております。  
過去には、長嶋茂雄さんや、鈴木啓司さん、横浜ベイスターズ、大学野球部ら多くのプロをはじめとする野球関係者、また多くの芸能関係者、企業経営者などもご参拝においていただいています。



これらの事実を踏まえながら、新宮商工会議所青年部は「速玉男神」の「速玉」の二文字を「速い玉」として捉え野球やサッカー、ゴルフなど球技の向上を祈願する神様として、さらに、「速玉男神」は「自ら行くべきところを指し示す神」であることから、もう一步踏み込んで、陸上競技やF1などをも含むスポーツ全般の「心技体」を磨いていただける神様として、全国の皆様にお伝えしたいと考え創設致しました。